

レスポンシブル・ケア データ集

2025 年度

1 2024 年度レスポンシブル・ケア実施報告と 2025 年度計画	・ ・ ・ ・ 1
2 レスポンシブル・ケア項目別取組補足	・ ・ ・ ・ 3
3 環境・安全データ	・ ・ ・ ・ 5
4 地区ごとの主要環境データ	・ ・ ・ ・ 9

報告対象組織: 堺化学工業(株)
報告対象期間: 2024 年 4 月～2025 年 3 月

1 2024 年度レスポンス・ケア実施報告と 2025 年度計画

2024 年度目標	2024 年度実績		2025 年度の目標
	内容	評価	
【環境保全】			
●CO ₂ 排出量 ・Scope1,2 削減率(2013 年度比) 2030 年度 30%	36%削減	○	目標継続
・Scope3 の把握 範囲確定と算定の実施	範囲を確定し、算定実施	○	算定を継続する
●エネルギー原単位 前年度比 1%削減	2.2%削減	○	目標継続
●産業廃棄物排出量 前年度より改善	2%削減	○	[変更]産業廃棄物排出量削減率(2021 年度比) 2030 年度 50% [追加]廃プラスチック 再資源化＋熱回収処理 前年度比 比率増加
●法令・条例基準値 基準値遵守	軽微かつ一時的な基準値の超過(2 件)	×	目標継続
●水使用量 前年度より改善	取水量 4.5%減少	○	[変更]水使用量削減率(2021 年度比) 2030 年度 25%
●重大な環境事故発生件数 0 件/年	0 件	○	目標継続
【保安防災】			
●備蓄品管理、使用訓練の実施	備蓄量の再算定、備蓄品の使用訓練実施	○	目標継続
●津波避難訓練、消防訓練の実施	事業所・工場ごとに避難訓練・総合防災訓練実施 消防設備点検及び職場毎の消防訓練実施	○	目標継続
●災害対策総本部の活動訓練の実施	2024 年度はサイバーテロを想定した対応訓練実施	○	目標継続
●安否確認訓練の実施	2024 年 9 月以降、毎月の安否確認訓練実施	○	目標継続
●2021 年 5 月 11 日発生の湯本工場爆発・火災事故への対応 ・堆積粉じんの除去	粉じん爆発の危険性のある製品の生産工場において、定期的な堆積粉塵の除去作業を実施	○	目標継続
・爆発火災事故の風化防止	2024 年 5 月 経営トップからのメッセージ発信および「静電気放電の事故シナリオと安全対策」講演会開催	○	目標継続
・安全衛生活動への取組みの強化	作業マニュアルの見直し・帯電防止タイプの着衣・靴の着用等を継続実施	○	目標継続
【労働安全衛生】			
●休業 4 日以上 の労働災害死傷者数 0 人／年	4 人／年	×	目標継続
●労働損失日数 0 日／年	61 日／年	×	目標継続

【物流安全】			
●イエローカード運用の継続	運用継続	○	目標継続
●元請物流会社との連絡会	堺、小名浜両地区で、物流安全品質会議を毎月開催	○	目標継続
【化学品・製品の安全・品質】			
●法令順守のための情報収集・社内共有	法令改正等の情報を入手し、統括部門から関係部門・部署へ情報共有	○	目標継続
●製品情報の伝達・提供	SDS や chemSHERPA による情報提供実施	○	目標継続
●化学物質関連の教育実施	環境マネジメントシステムや、化学物質関連法規制に関し、e-ラーニングを活用した従業員教育を実施	○	目標継続
【社会との対話】			
●各事業所が所在する地域において、近隣住民と操業に対する理解と環境の改善・工場に向けた対話や情報交換を行う	小名浜地区の産業廃棄物処分場や事業所の所在地区の会合に出席し、安全操業や環境改善に向けた取り組みを説明し、意見交換	○	目標継続
●各事業所が所在する地域における各種行事への参加や、定期的に行っている事業所周辺の清掃活動を実施する	地域清掃活動への参加 地域行事への参加・協賛	○	目標継続
●各事業所が所在する地域における各種行事やイベントへの参加をとおして次世代育成に貢献する	・堺市の公立小中学校に配布される「小学生のためのお仕事ノート」、「中学生のためのお仕事ブック」に協賛 ・堺市教育委員会主催「堺科学教育フェスタ」に参加 ・平工業高校社会人講座に講師派遣 ・いわきカーボンニュートラル社会連携講座に協賛	○	目標継続

2 レスポンシブル・ケア項目別取組補足

2-1 環境保全

●環境保全に関する目標

堺化学グループのマテリアリティに関連した KPI を 2024 年度に見直しております。これに合わせ、環境保全の目標も見直しました。

●産業廃棄物最終処分場管理情報

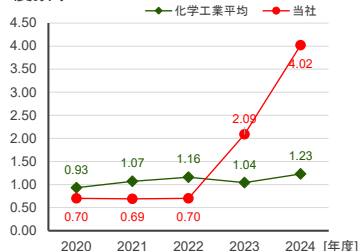
産業廃棄物の最終処分をおこなっている内郷処分場・渡辺処分場の維持管理情報を、定期的にホームページ上で公表しております。

2-2 労働安全衛生

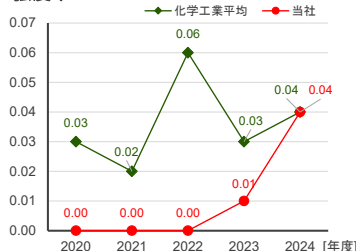
●労働災害発生状況

2024 年度は休業日数 4 日以上 の休業災害は 4 件発生し、労働災害が多発しています。主な発生要因は「不安全行動」で、その背景に危険感受性の低下や危険敢行性の上昇といった行動心理があると分析しております。従来の安全衛生活動に加え、2025 年度はVR(仮想現実)技術を活用した災害対策訓練も導入し、従業員一人ひとりの意識と行動を変革し、安全文化の構築につなげられるよう活動してまいります。

度数率



強度率



度数率: 100 万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数。労働災害の頻度の指標。
強度率: 1,000 延実労働時間当たりの労働災害による延労働損失日数。労働災害の重さの程度。指標。
化学工業平均: 厚生労働省の労働災害動向調査より、事業所規模 100 人以上の産業別統計結果

●グループでの安全衛生活動の推進、安全衛生教育の充実

堺化学グループでは、年 2 回開催するグループ安全会議や安全衛生教育を継続し、グループ全体で安全意識の向上を図り、安全な作業と環境の構築に努めています。教育面では、e-ラーニングや講習会などを通じ、管理職から一般社員まで役割に応じた安全衛生教育を実施しています。2024 年度には、ハラスメント防止セミナーやメンタルヘルス教育など、心身両面の安全を支える研修を展開しました。

2-3 保安防災

定期的な防災訓練として、堺事業所では、2024 年 9 月 3 日に「大阪 880 万人訓練」に合わせた避難訓練と総合防災訓練を実施しました。小名浜地区においても、湯本工場では 2024 年 11 月 28 日にいわき市消防本部常磐消防署と、大剣工場では 2024 年 12 月 3 日、小名浜事業所では 2025 年 1 月 16 日に小名浜消防署と合同で総合防災訓練を実施しました。実災害発生時にも対応できるよう、防災訓練の見直しや防災資機材の拡充などに取り組んでおります。

堺化学工業(株)では、災害等の発生時の連絡手段の確保と従業員の安否確認・把握を速やかに行うため、安否確認システムを導入し適宜訓練を行っていました。2024 年 10 月からは毎月の訓練とし、有事の際のよりスムーズな安否確認を図っております。

また、大阪府危険物安全大会において、石津・忠岡工場が忠岡町消防本部の推薦を受け、大阪府知事より「優良危険物関係事業所」として感謝状をいただきました。今後も危険物の取り扱いに細心の注意を払い、無災害の継続と保安確保に努めてまいります。

●過去事例を教訓とした安全衛生・保安防災活動

2021 年 5 月 11 日に湯本工場の垂鉛末工場にて爆発火災事故を起してしまい、事故により被災された方々や近隣住民の皆さま、お客さまを含め多くの方々に多大なご迷惑をおかけしました。

湯本工場の爆発火災事故の発生日を「安全への誓い」とし、毎年 5 月に社長名でグループ全体にメッセージを発信するとともに、爆発火災事故を風化させないことと安全意識と知識の向上を目的に、火災・爆発をテーマとした講演会を開催しています。2024 年度は、2024 年 5 月 13 日にメッセージ発信、14 日にグループ会社全体を対象とした講演会「静電気放電の事故シナリオと安全対策」を開催しました。

また、粉じん爆発の危険性のある製品の生産工場において、定期的な堆積粉じんの除去や帯電防止タイプの着衣・靴の着用など継続した取り組みも実施しております。

2-4 物流安全

輸送事故時に運転手や消防・警察などが取るべき措置内容を記載した緊急連絡カード(イエローカード)を、継続的に物流会社へ提供しています。

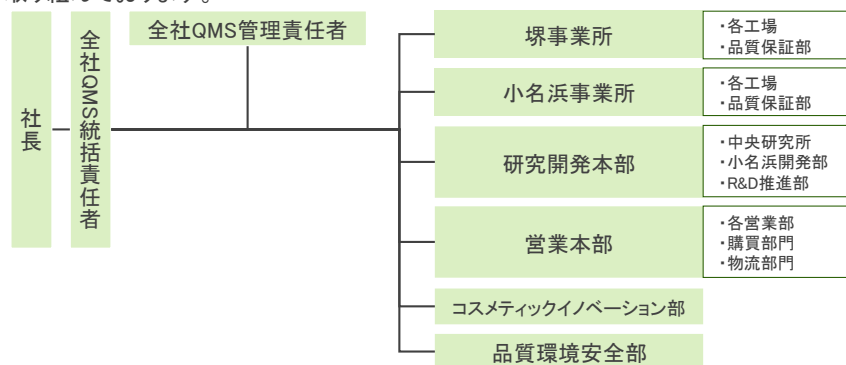
労働安全衛生法令の改正動向を把握し、表示対象となった物質を含む製品にはラベル表示を進め、お客様使用時のみならず輸送事故発生時にも適切に危険有害性情報が伝わるよう努めております。

2-5 化学品・製品の安全・品質

●品質への取組み

堺化学工業(株)では、品質マネジメントシステム(QMS)の国際規格である ISO9001(JIS Q9001:2015)の認証を取得し、運用しています。

堺事業所と小名浜事業所両拠点の品質保証部を中心に、製品品質の信頼性向上に向けて取り組んでおります。



●化学品・製品の安全への取組み

堺化学工業(株)では、お客様に当社製品を安全にお使いいただけるよう、JIS(GHS)に基づいた安全データシート(SDS)の提供を継続しています。SDS は、化学品の危険有害性や取扱に関する情報を伝達するための文書です。また、製品含有化学物質の情報伝達共通スキームである chemSHERPA による製品含有化学物質情報も提供しております。

2-6 地域コミュニケーション

●在阪地区(堺事業所、泉北工場、石津・忠岡工場)の取組み

2024 年 7 月 13 日に堺市教育委員会が主催する、「堺科学教育フェスタ」に参加し、日焼け止めの手作り体験を通じ、参加者に化学の面白さをお伝えしました。

ニワダニネットワークシステム株式会社が発行し、堺市の全公立小学校 93 校の 3・4 年生に配布される「小学生のためのお仕事ノート」および堺市の全公立中学校 43 校の 1 年生に配布される「中学生のためのお仕事ブック」に協賛しております。

2024 年 10 月開催の「堺まつり」に協賛し、従業員有志 7 名がボランティアとしても参加しております。また、堺事業所周辺の歩道の清掃活動を通じ、地域の美化にも貢献しています。当社創業の地である堺、その地域の方々への感謝の気持ちと共に、地域活性化の一助となればという思いです。

●小名浜地区(小名浜事業所、大剣工場、湯本工場)の取組み

2024 年 8 月 2 日に、「第 69 回いわき花火大会」の前夜祭「いわきおどり小名浜大会」が開催され、労働組合小名浜支部を中心とした有志グループが参加し、参加 54 団体中で見事 3 位に輝きました。翌日の花火大会にも協賛しております。

2024 年 10 月 20 日に「第 32 回泉ふるさと祭り」にも協賛・出店したほか、2025 年 2 月 23 日の「第 16 回いわきサンシャインマラソン」にも従業員が参加し、イベントの活性化と地域の方々との交流を図りました。

また、「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」の一環として、小名浜事業所周辺の清掃活動にも取り組んでおります。

3 環境・安全データ

エネルギー/CO₂※1

(年度)

		単位	2020	2021	2022	2023	2024
エネルギー	エネルギー消費量※2	原油換算 kL	59,900	70,800	64,600	54,800	55,100
	うち、オフサイト PPA 買電量※3	千 kWh	—	—	—	939	1259
	うち、クレジットエネルギー※4	千 Nm3	1,024	1,024	1,024	3,375	3,677
	エネルギー原単位前年度比	%	103.2	98.5	103.8	100.4	97.8
CO ₂	CO ₂ 排出量(Scope1+Scope2)	千 t-CO ₂	121	134	124	104	99.5
	CO ₂ 排出量(Scope1)	千 t-CO ₂	77	91	83	65	64
	CO ₂ 排出量(Scope2)	千 t-CO ₂	44	43	41	39	36
	CO ₂ オフセット量※4	千 t-CO ₂	2.9	2.9	2.9	10.2	10.8

※1 省エネ法で報告義務のある事業所を対象とし、省エネ法、地球温暖化対策推進法に基づき算出しています。なお、石津工場の値は、2022 年度以降から含まれます。

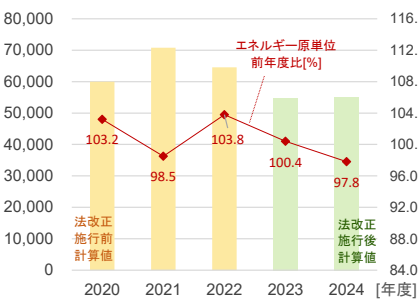
※2 2023 年 4 月 1 日施行の改正省エネ法に関し、2022 年度までは施行前の、2023 年度以降は施行後の計算値を記載しております。

※3 PPA: Power Purchase Agreement(電力購入契約)、PPA 事業者が契約者の敷地内に太陽光発電設備を無償で設置し、発電した電力を契約者が購入するビジネスモデル。2022 年 6 月に東京ガス(株)とエネルギーサービスに関する基本合意書を締結し、小名浜事業所大剣工場にて PPA モデルによる太陽光発電設備を導入しました。

※4 小名浜事業所松原工場及び大剣工場を対象に、東京ガス(株)のカーボンオフセット都市ガスを調達しています。カーボンオフセット都市ガスについては URL: <https://carbon-neutral-Ing.jp/> をご参照ください。

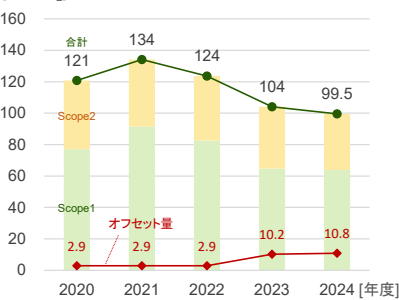
エネルギー消費量

[原油換算kL]



CO₂排出量

[千t-CO₂]



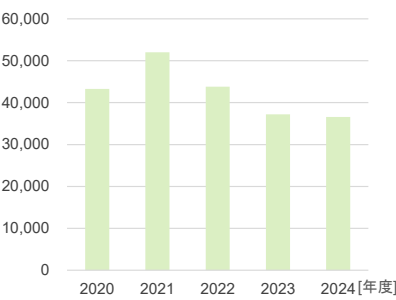
廃棄物

(年度)

		単位	2020	2021	2022	2023	2024
産業廃棄物	産業廃棄物排出量	t	43,300	52,000	43,800	37,200	36,600
	うち、再生処理委託量	t	309	274	306	315	660
	うち、熱回収処理委託量	t	611	697	570	594	562
	うち、その他中間処理委託量	t	408	312	265	290	212
	うち、自社埋立量	t	39,700	48,400	40,400	34,200	33,400
	うち、外部埋立処理委託量	t	2,250	2,310	2,270	1,840	1,720
廃プラスチック	廃プラスチック排出量	t	475	461	407	404	420
	うち、再生処理委託量 (処理割合)	t	0	2 (0.5%)	0	7 (2%)	6 (1%)
	うち、熱回収処理委託量 (処理割合)	t	298 (62%)	344 (75%)	308 (76%)	333 (82%)	347 (83%)
	うち、その他中間処理委託量 (処理割合)	t	178 (38%)	115 (25%)	98 (24%)	64 (16%)	66 (16%)
	うち、埋立処理委託量 (処理割合)	t	0	0	0	0	0

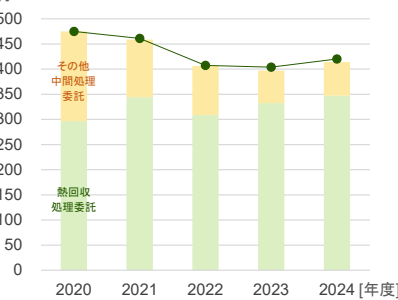
産業廃棄物排出量

[t]



廃プラスチック排出量

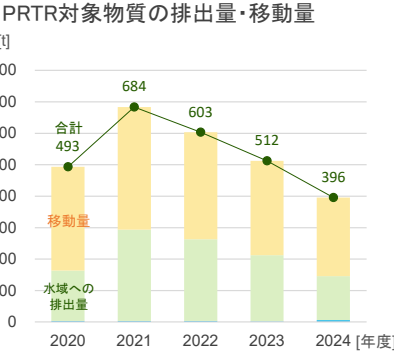
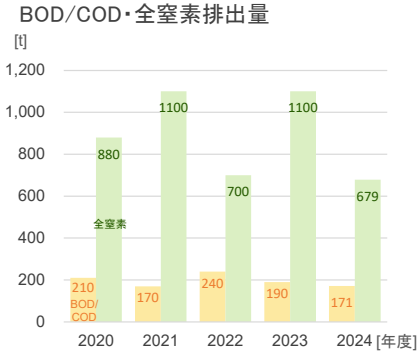
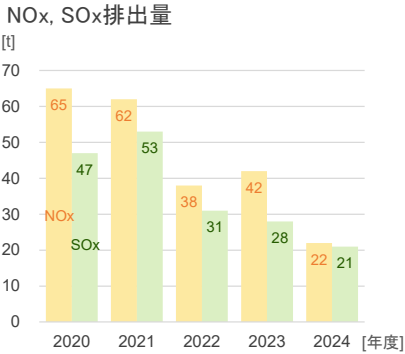
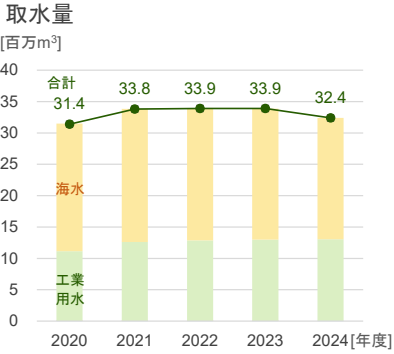
[t]



		(年度)					
		単位	2020	2021	2022	2023	2024
水	取水量	百万 m ³	31.4	33.8	33.9	33.9	32.4
	うち、海水	百万 m ³	20.3	21.2	21.1	20.9	19.3
	うち、工業用水	百万 m ³	11.1	12.6	12.8	12.9	13.0
	うち、上水道水	千 m ³	42.5	36.9	33.9	38.2	39.4
	うち、地下水	千 m ³	2.9	5.2	1.6	1.2	0
	排水量	百万 m ³	31.5	33.8	33.9	34.9	33.3

		(年度)					
		単位	2020	2021	2022	2023	2024
大気	NOx 排出量	t	65	62	38	42	22
	SOx 排出量	t	47	53	31	28	21
	フロン排出量※4	t-CO ₂	53	68	52	70	184
水質	BOD/COD 排出量※5	t	210	170	240	190	170
	全窒素排出量	t	880	1,100	700	1,100	680
	全リン排出量	t	0.07	0.05	0.05	0.06	0.02
PRTR対象	大気への排出	t	3.2	3.6	3.3	2.4	5.8
	水域への排出	t	160	290	260	210	140
	土壌への排出	t	0	0	0	0	0
	移動量	t	330	390	340	300	270

※4 フロン排出抑制法の算定漏えい量に、機器設置時の充填量と廃棄時の回収量の差も合わせた数値です。
 ※5 COD(化学的酸素要求量)は、河川排出の BOD(生物化学的酸素要求量)を等価として換算しています。



PRTR 法対象物質ごとの排出量・移動量 (年度)

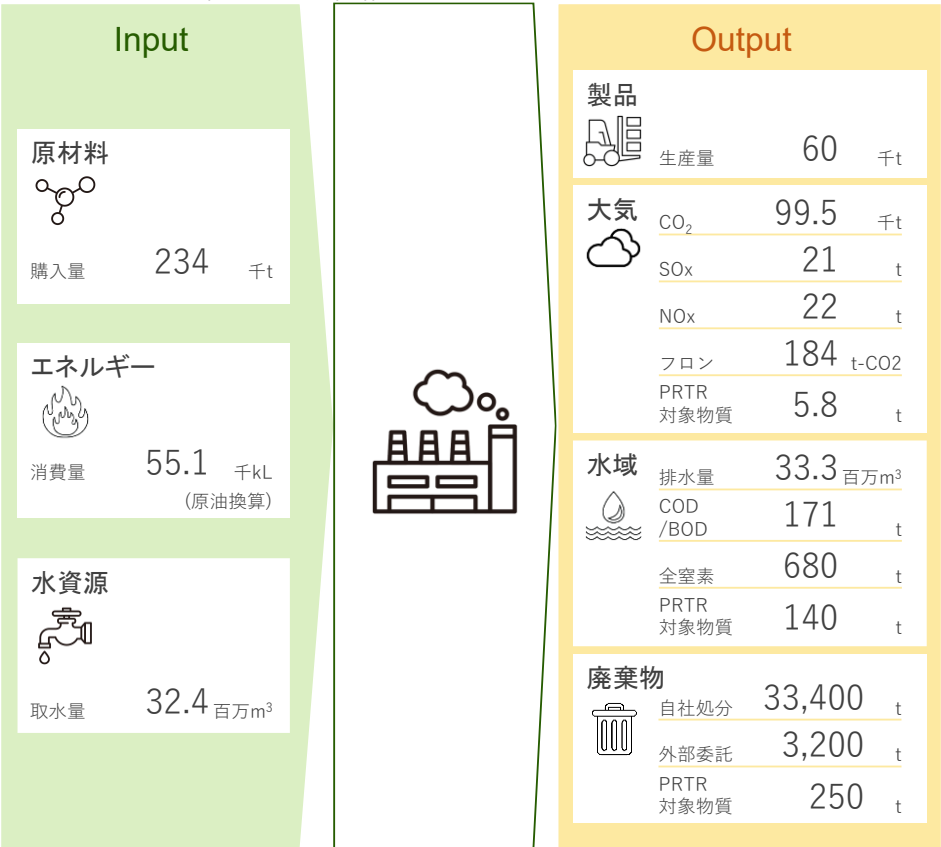
	単位	排出量						移動量		
		大気			水域			移動量(下水道、廃棄物)		
		2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024
亜鉛の水溶性化合物	t	0	0	0	0.03	0.16	0.15	0	0	0
アニリン	t	0.06	0.06	0	0	0	0	0.40	0.38	0
チオ尿素	t	0	0	0	220	170	120	31	31	22
トルエン	t	3.2	2.3	3.5	0	0	0	55	25	40
ニッケル化合物	t	0	0	0	0.45	0.72	0.34	13	10	3.5
バナジウム化合物	t	0	0	0	0	0	0	0.17	0.19	0.24
ヘキサメチレンジアミン	t	0.02	0.01	2.3	0	0	0	0.63	0.26	25
マンガン及びその化合物	t	0	0	0	37	34	21	230	210	160
モリブデン及びその化合物	t	0	0	0	5.0	4.1	0.47	0.74	2.3	0.17
鉛及びその化合物	t	0	0	0	0	0	0	3.1	11	0

安全※ (年度)

		単位	2020	2021	2022	2023	2024
安全	労働災害発生件数	件	1	1	1	3	6
	度数率	人/100 万延総労働時間	0.70	0.69	0.70	2.09	4.02
	強度率	日/1,000 延総労働時間	0.00	0.00	0.00	0.01	0.04

※ 堺化学工業(株)の従業員の休業 1 日以上労働災害を基としており、構内常駐業者(協力会社)等の労働災害は含みません。

Input—Output 実績(堺化学工業(株))



4 地区ごとの主要環境データ

4-1 在阪地区

「在阪地区」には、堺事業所、泉北工場、石津・忠岡工場を含みます。(年度)

	単位	2020	2021	2022	2023	2024
エネルギー・CO ₂	エネルギー消費量	原油換算 kL	11,400	12,400	13,900	10,700
	CO ₂ 排出量(Scope1+Scope2)	千 t-CO ₂	22	21	24	21
	CO ₂ 排出量(Scope1)	千 t-CO ₂	13	14	16	12
	CO ₂ 排出量(Scope2)	千 t-CO ₂	9	7	7	9
廃棄物	産業廃棄物排出量	t	3,000	2,900	2,900	2,500
	廃プラスチック排出量	t	192	195	186	162
水	取水量	百万 m ³	1.3	1.5	1.3	1.2
	うち、海水	百万 m ³	0	0	0	0
	うち、工業用水	百万 m ³	1.3	1.5	1.3	1.2
	うち、上水道水	千 m ³	12	12	9	12
	うち、地下水	千 m ³	3	5	2	1
	排水量	百万 m ³	1.4	1.5	1.4	1.4
大気	NOx 排出量	t	5	6	6	6
	SOx 排出量	t	0	0	0	0
水質	BOD/COD 排出量	t	18	14	27	18
	全窒素排出量	t	23	17	17	15
	全リン排出量	t	0.07	0.05	0.05	0.06
PRTR 対象	大気への排出	t	3.1	3.5	3.3	2.4
	水域への排出	t	2.8	4.0	5.4	4.8
	土壌への排出	t	0	0	0	0
	移動量	t	32	57	75	50

注意書きは省略していますが、「3 環境・安全データ」項と同様の基準での集計です。

4-2 小名浜地区

「小名浜地区」には、小名浜事業所、大剣工場、湯本工場を含みます。(年度)

	単位	2020	2021	2022	2023	2024
エネルギー・CO ₂	エネルギー消費量	原油換算 kL	48,400	58,200	50,500	44,000
	CO ₂ 排出量(Scope1+Scope2)	千 t-CO ₂	99	112	100	83
	CO ₂ 排出量(Scope1)	千 t-CO ₂	64	77	66	52
	CO ₂ 排出量(Scope2)	千 t-CO ₂	34	35	34	30
廃棄物	産業廃棄物排出量	t	40,300	49,100	40,900	34,700
	廃プラスチック排出量	t	282	266	222	242
水	取水量	百万 m ³	30.2	32.4	32.6	32.7
	うち、海水	百万 m ³	20.3	21.2	21.1	20.9
	うち、工業用水	百万 m ³	9.8	11.1	11.5	11.8
	うち、上水道水	千 m ³	30	25	25	26
	うち、地下水	千 m ³	0	0	0	0
	排水量	百万 m ³	30.1	32.3	32.6	33.5
大気	NOx 排出量	t	60	56	32	35
	SOx 排出量	t	47	53	31	28
水質	BOD/COD 排出量	t	190	160	210	170
	全窒素排出量	t	860	1,100	680	1,100
	全リン排出量	t	0	0	0	0
PRTR 対象	大気への排出	t	0	0	0	0
	水域への排出	t	160	290	260	200
	土壌への排出	t	0	0	0	0
	移動量	t	300	330	260	240

注意書きは省略していますが、「3 環境・安全データ」項と同様の基準での集計です。

2025 年 10 月発行

作成	堺化学工業株式会社
問合先	管理本部 品質環境安全部
ホームページ	メール: hinsyo-kankyo@sakai-chem.co.jp https://www.sakai-chem.co.jp/jp/